

度会町における

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

度会町教育委員会
平成26年10月

本年4月22日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、度会町の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とされています。

しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し、今後の当町の教育の一層の充実を図ってまいります。

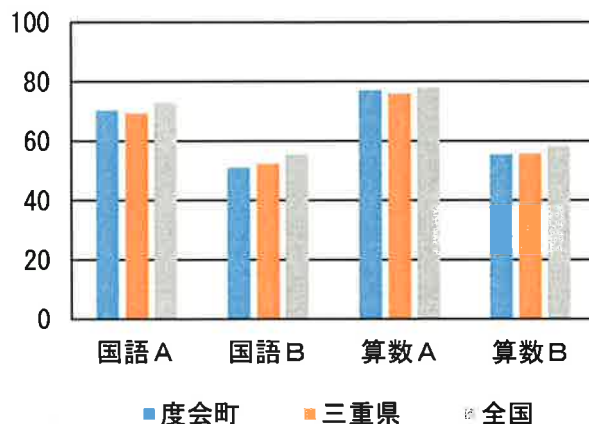
1、全体概要

■各教科平均正答率の状況

<小学校>

平均正答率	国語A	国語B	算数A	算数B
度会町	70.4	51.1	77.1	55.5
三重県	69.6	52.5	76.2	56.0
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

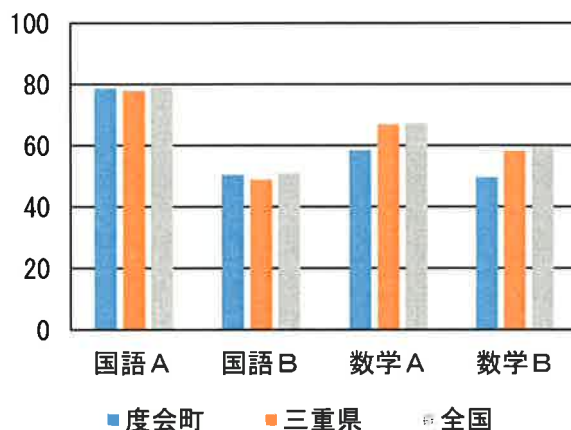
A…主として「知識」に関する問題 (%)
B…主として「活用」に関する問題



<中学校>

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B
度会町	78.8	50.5	58.5	49.7
三重県	78.0	49.0	67.1	58.3
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

A…主として「知識」に関する問題 (%)
B…主として「活用」に関する問題

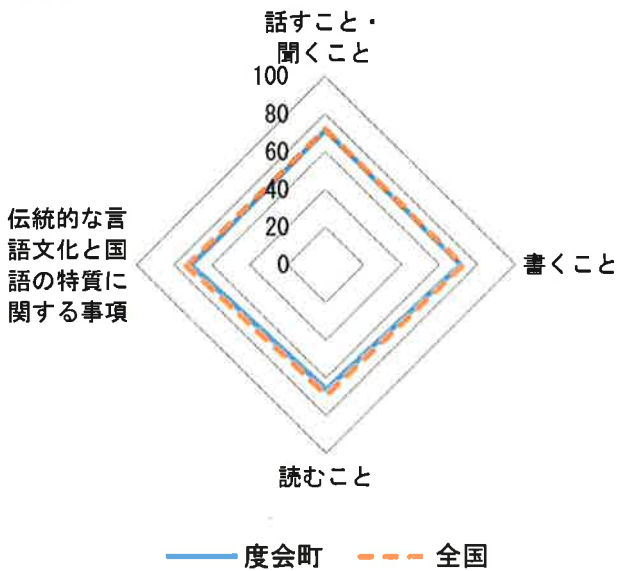


2、教科別概要

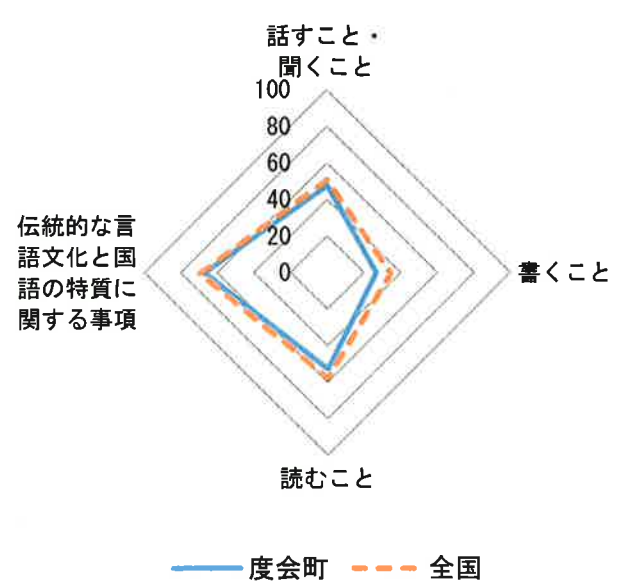
【1】小学校国語

■領域別平均正答率の状況

国語A



国語B



■調査問題結果からみる傾向 (◇強み ◆弱み)

◇漢字の読み・書きは概ね出来ています。

- ・問題A[1]一(1) 道路の標識を見る (町 92.6% 県 90.1% 全国 91.7%)
- ・問題A[1]二(1) 料理をのせたさらを運ぶ (町 98.8% 県 98.1% 全国 97.8%)

◆故事成語の意味と使い方の理解に課題がみられます。

- ・問題A[2] 故事成語の使い方として適切なものを選択する
 - 一. 五十歩百歩 (町 49.4% 県 45.4% 全国 55.8%)
 - 二. 百聞は一見にしかず (町 37.0% 県 44.1% 全国 49.9%)

◇文の意味のつながりを捉え、仮定の表現として適切な語句を選択できています。

- ・問題A[6]二 ~になるならば、~になるのだったら、~になるのであれば
(町 88.9% 県 81.2% 全国 83.1%)

◆話し合いにおいて、発言をする際に根拠を明確にした上で発言することに課題がみられます。

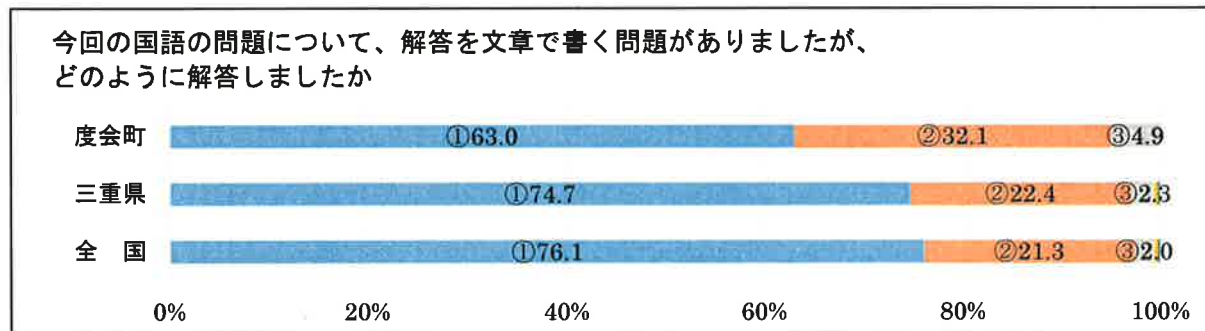
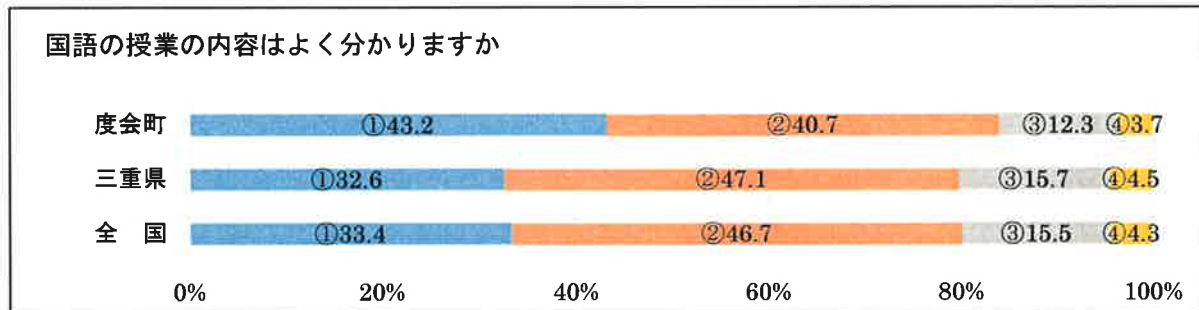
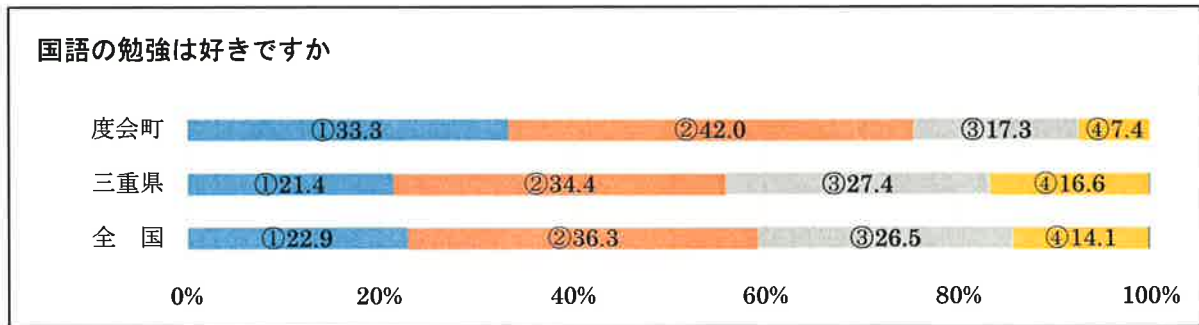
- ・問題B[1]三 立場を明確にし、条件に合わせて、質問や意見を述べる
(町 21.0% 県 26.4% 全国 28.3%)

◆二つの詩を比べて読み、内容や表現の工夫を捉えるとともに、それらについて自分の考えを書くことに課題が見られます。

- ・問題B[3]三 二つの詩を比べて読み、条件に合わせて、自分の考えを書く
(町 35.8% 県 43.1% 全国 48.1%)

■学習への関心・意欲・態度（児童質問紙から）

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた ③書く問題は全く解答しなかった

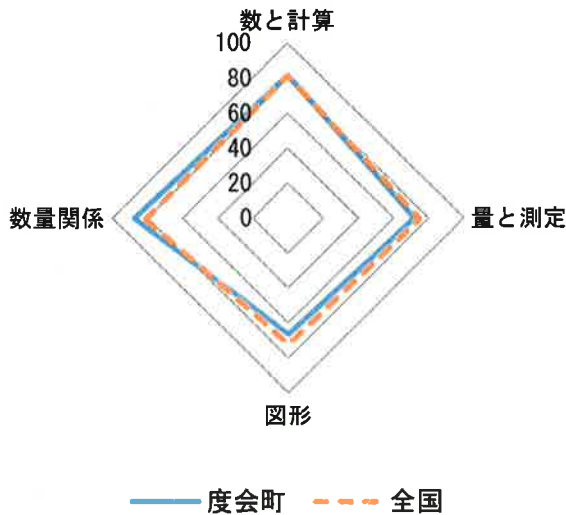
■全体的傾向と課題

- ・漢字の読み書きや、言葉の意味を理解し適切に使うなど、基礎基本の力は概ねついていきます。
- ・故事成語やことわざなど、語句を知っていても、意味を正しく理解した上で使うことに課題が見られます。
- ・国語の勉強は好きであり、授業もよく分かると感じている児童が多いです。また、国語の勉強は大切であり、将来社会に出たときに役に立つと思っている割合も高く、関心・意欲の高さがうかがえます。
- ・文字数や必要な語句の使用など、求められた条件に合わせて記述することに課題がみられます。また、記述問題に対しては最後まで書こうと努力する割合が、全国や県の割合と比べて低く、無回答率が高い傾向にあります。

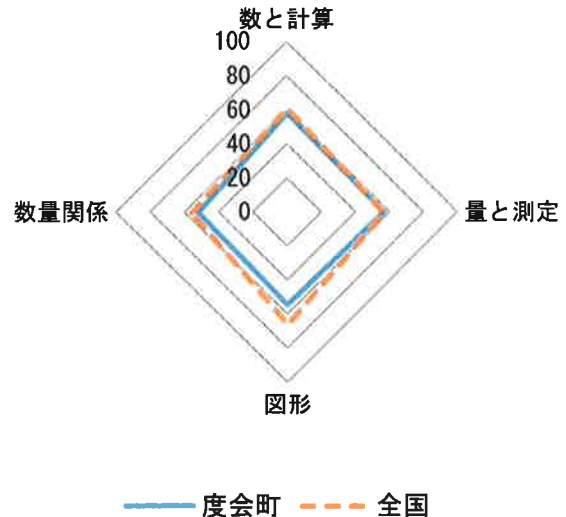
【2】 小学校算数

■ 領域別平均正答率の状況

算数 A



算数 B



■ 調査問題結果からみる傾向 (◇強み ◆弱み)

◇計算の順序についてのきまりを理解して計算することや、計算のきまりを具体的な場面に置き換えて捉えることは概ね出来ています。

・問題 A¹(5) 減法乗法の混合計算 $100-20 \times 4$ (町 87.7% 県 79.4% 全国 80.9%)

・問題 A⁸ 答えが $100-20 \times 4$ の式で求められる問題を選択する

「100円玉を1枚持って買い物に行きました。1個20円のあめを4個買いました。おつりはいくらですか。」(町 86.4% 県 79.8% 全国 81.0%)

◇直方体の体積を求めることは、概ね出来ています。

・問題 A⁵(2) 1cm^3 の立方体を基に、示された直方体の体積を求める

(町 85.2% 県 80.1% 全国 81.1%)

◆作図に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がみられます。

・問題 A⁶ コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (町 30.9% 県 46.1% 全国 52.0%)

◇数量の大小を比較する際に、根拠となる事柄を過不足なく示し、判断の理由を説明することは全国平均より高いものの、課題もみられます。

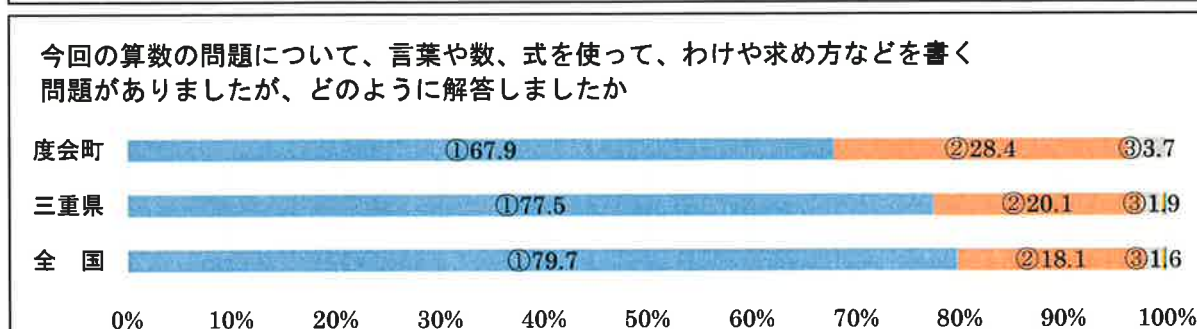
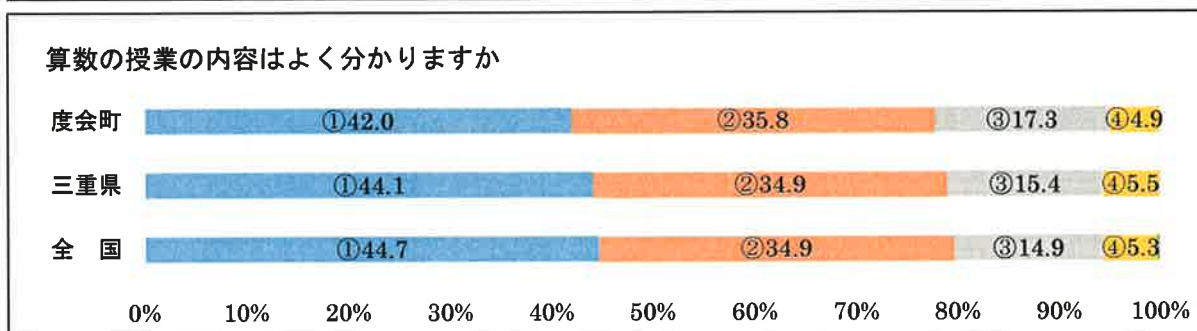
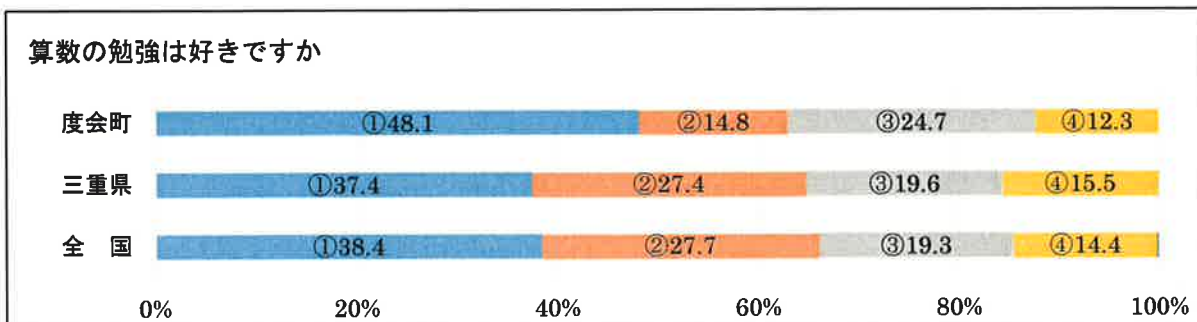
・問題 B³(3) 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、理由を書く (町 40.7% 県 28.4% 全国 30.6%)

◆繰り返し出現する事象から規則性を読み取ることに課題がみられます。

・問題 B⁴(1) 打楽器のリズム演奏で、示されたリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く (町 50.6% 県 58.7% 全国 62.2%)

■学習への関心・意欲・態度（児童質問紙から）

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



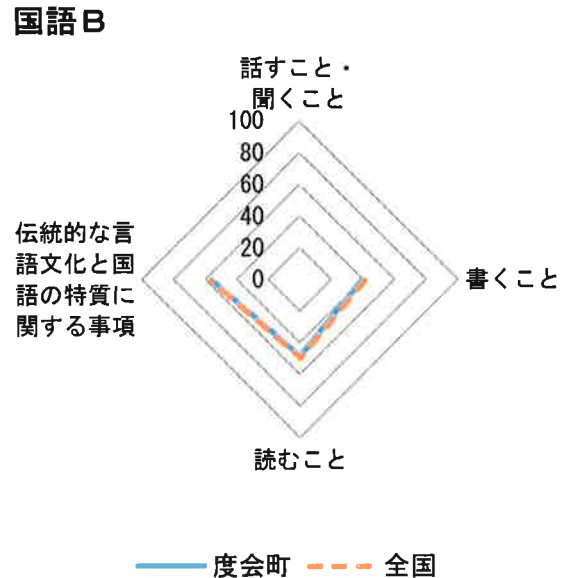
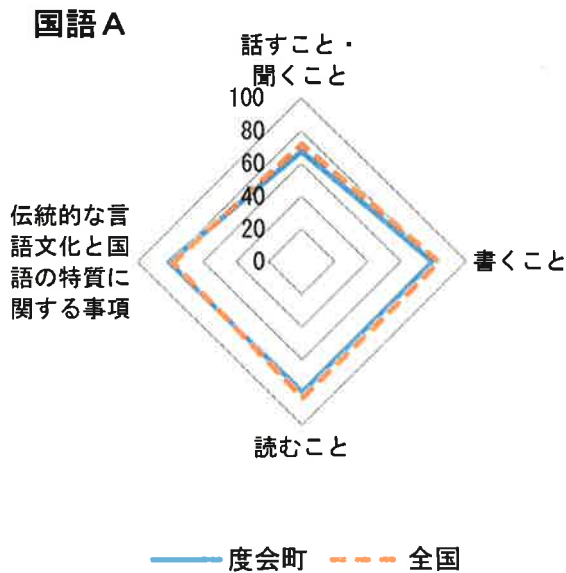
①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった ③書く問題は全く解答しなかった

■全体的傾向と課題

- ・整数、小数、分数の四則計算や計算の順序についての理解は概ね出来ています。
- ・示された情報（図、表、グラフ等）から、必要となる情報を選択し、規則性を読み取るなど、問題を解決することに課題がみられます。あわせて、その判断理由を、根拠となる事実を関連付けて書くことにも課題がみられます。
- ・質問紙でも、理由や求め方を言葉や数、式を使って記述する問題に対して、最後まで書こうと努力する割合が、全国や県の割合と比べて低く、無回答率が高い傾向にあります。
- ・算数の勉強は好きであると感じる児童が全国や県の平均より高い一方で、否定的な回答を行った児童も4割近くいます。

【3】 中学校国語

■ 領域別平均正答率の状況



※国語Bに、<話すこと・聞くこと>領域にかかると問題は出題されていません。

■ 調査問題結果からみる傾向 (◇強み ◆弱み)

◇漢字の読み書きや、語句の意味を理解し適切に使うことは概ね出来ています。

- ・問題A[8]一 3 計画を行動にうつす。(町 86.5% 県 74.3% 全国 73.6%)
- ・問題A[8]三ウ 地域の伝統的な文化を継承する(町 84.4% 県 79.9% 全国 80.8%)

◇語句や文に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えることは概ね出来ています。

- ・問題A[2]二 仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える。
「僕はうれしくなった」→「僕の心は○○○○○」
(町 83.3% 県 77.0% 全国 79.8%)

◆目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題がみられます。

- ・問題A[6]一 二人の発言を聞いて、意見の相違点を発言の中から引用する
(町 45.8% 県 52.1% 全国 54.3%)

◇複数の資料を読み、必要な情報を読み取ることはある程度出来ています。

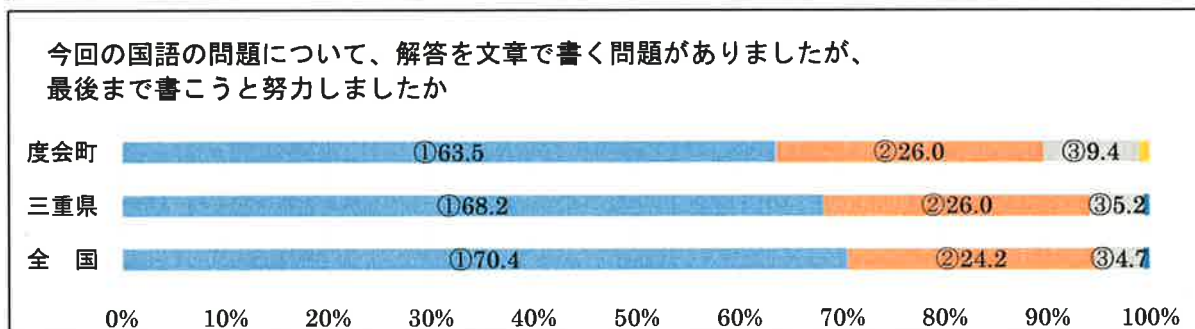
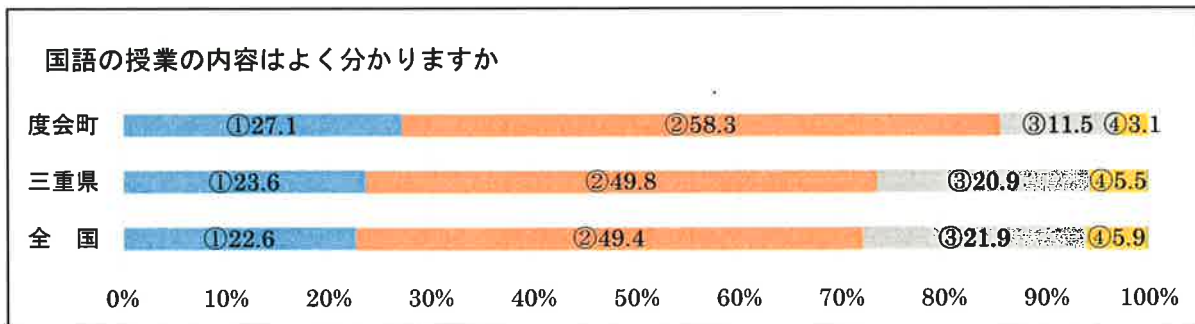
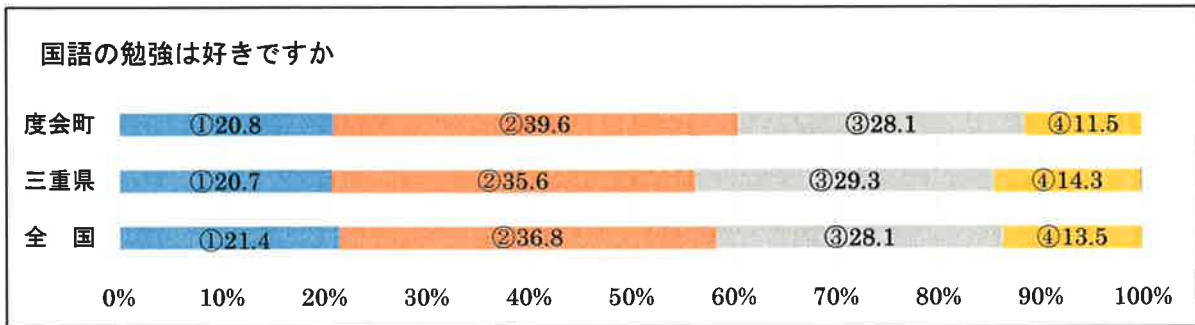
- ・問題B[2]二 本とインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する(町 63.5% 県 58.8% 全国 60.9%)

◆資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄を明確に伝えるように書くことに課題がみられます。

- ・問題B[2]三 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く
(町 22.9% 県 26.9% 全国 28.4%)

■学習への関心・意欲・態度（生徒質問紙から）

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



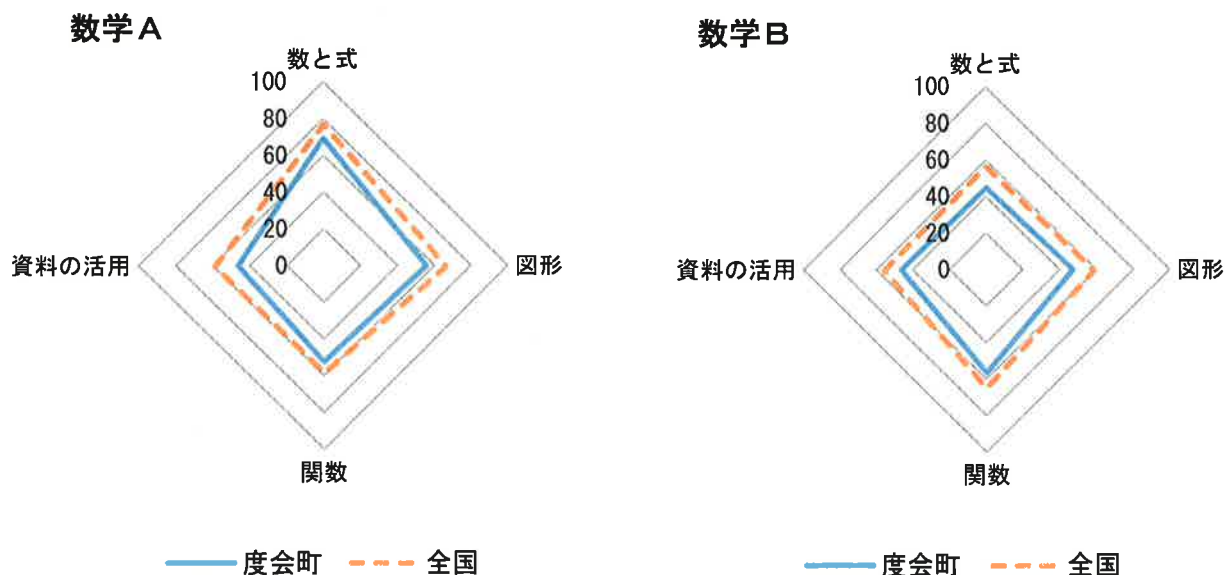
①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた ③書く問題は全く解答しなかった

■全体的傾向と課題

- ・漢字の読み書きや、語句の意味を理解し適切に使うなど、基礎基本の力は概ねついています。
- ・複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることや、そこから必要な情報を読み取ることは比較的出ていますが、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がみられます。また、文字数や必要な語句の使用など、求められた条件に合わせて記述することに課題がみられます。
- ・記述問題に対しては最後まで書こうと努力する割合が、全国や県の割合と比べて低く、書く問題は全く解答しなかったとする生徒も多く、無回答率が高い傾向にあります。
- ・国語の授業はよくわかると肯定的に感じている生徒が多く、国語は大切であり、将来社会に出たときに役に立つと思っている割合も高く、関心・意欲の高さがうかがえます。

【4】中学校数学

■領域別平均正答率の状況



■調査問題結果からみる傾向 (◇強み ◆弱み)

◆指数を含む計算に課題がみられます。

・問題A①(2) $2 \times (-5^2)$ を計算する (町 59.4% 県 72.1% 全国 70.7%)

・問題A②(3) $a=2, b=3$ のときの式 ab^2 の値を求める (町 71.9% 県 81.6% 全国 82.6%)

◆分数を含む一元一次方程式を解いたり、簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がみられます。

・問題A③(2) 一次方程式 $\frac{x-1}{3}=2$ を解く (町 41.7% 県 59.2% 全国 59.5%)

・問題A③(4) 連立二元一次方程式 $\begin{cases} y=3x-2 \\ y=2x+3 \end{cases}$ を解く (町 59.4% 県 66.2% 全国 67.2%)

◆度数分布表から相対度数を求めたり、ヒストグラムにおいて中央値の意味を理解することに課題がみられます。

・問題A⑬(1) 生徒 60 人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める (町 25.0% 県 44.5% 全国 42.7%)

・問題A⑬(2) ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ (町 35.4% 県 52.1% 全国 52.0%)

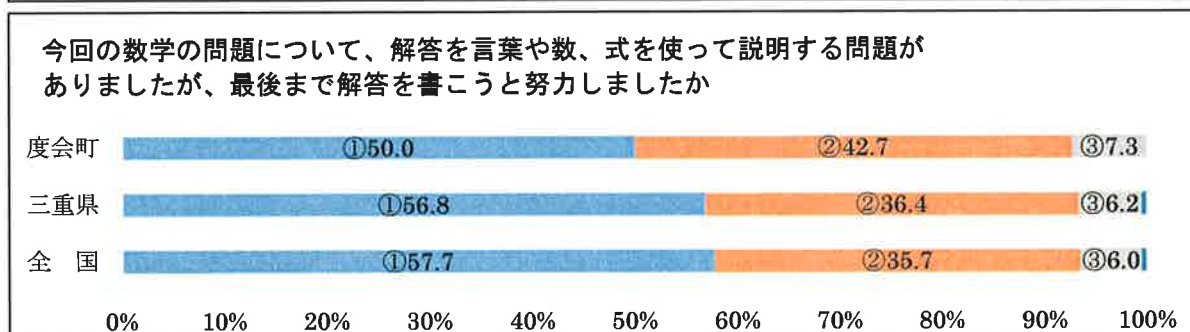
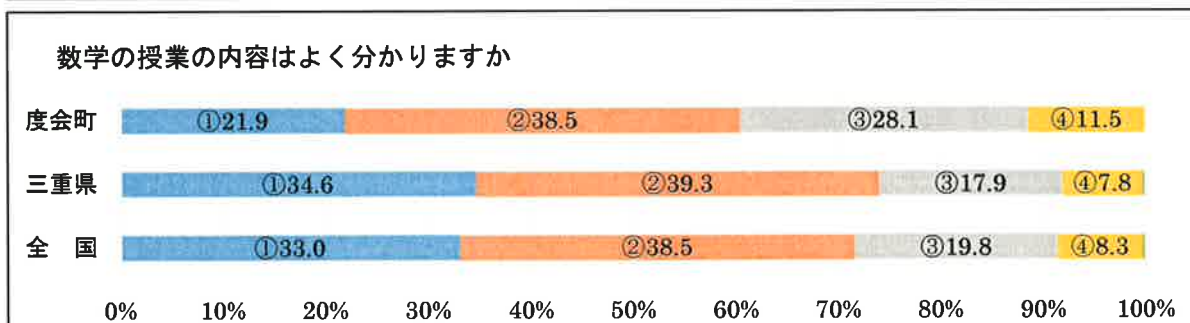
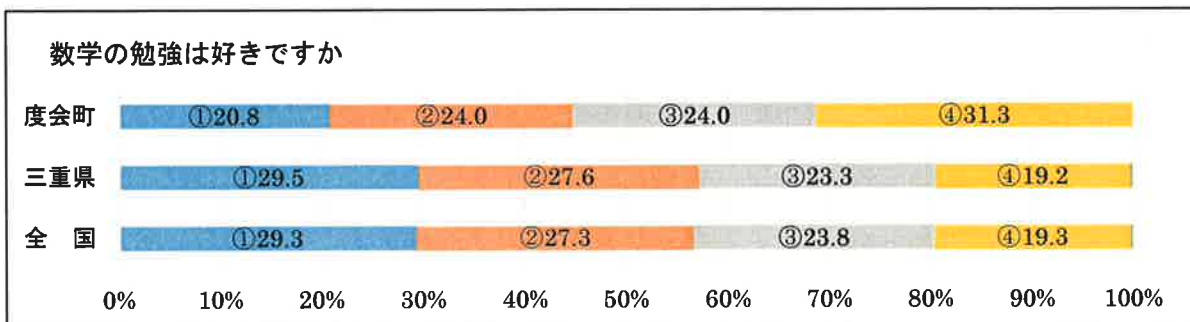
◆図形の性質を構想を立てて証明したり、付加された条件を使って角度を求めるなど、発展的に考えることに課題がみられます。

・問題B④(1) 2つの線分の長さが等しいことを証明する (町 24.0% 県 40.5% 全国 39.4%)

・問題B④(2) 付加された条件を使い角度を求める。(町 6.3% 県 22.3% 全国 23.3%)

■学習への関心・意欲・態度（生徒質問紙から）

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた ③書く問題は全く解答しなかった

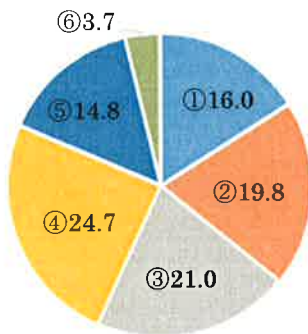
■全体的傾向と課題

- ・数学A、Bにおいて、4領域〈数と式〉〈図形〉〈関数〉〈資料の活用〉ともに課題がみられます。
- ・既習の内容である基礎的・基本的な知識や技能の定着に課題がみられるため、それらの活用力を問う数学Bでは、発展的に考えることが難しく、無回答率が高い状況です。
- ・数学の勉強は好きですか、に対して、半数以上の生徒が否定的な回答をしています。授業の内容がよく分かると回答する生徒の割合も国語に比べて低くなっています。
- ・数学に対する学習意欲は高いとは言えない状況ですが、質問紙「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」に対し、肯定的な回答を行っている生徒は83.3%を占め、全国平均（80%）より高い状況です。学習内容を振り返る際に、分かりやすいようにと工夫する姿がうかがえます。

3、質問紙調査の概要

【1】生活習慣

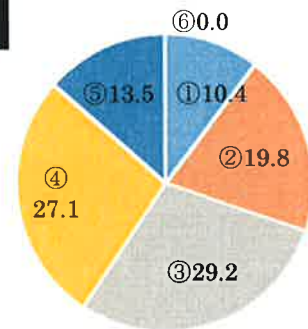
■小学校



平日のテレビ、ビデオ、DVD視聴時間

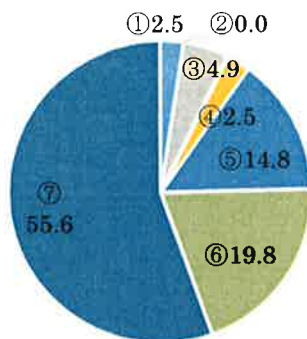
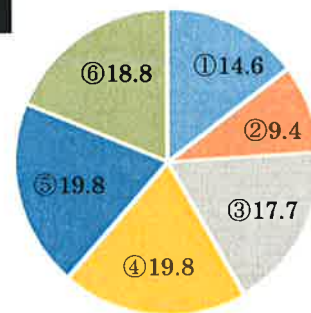
- ① 4時間以上
- ② 3時間以上 4時間未満
- ③ 2時間以上 3時間未満
- ④ 1時間以上 2時間未満
- ⑤ 1時間未満
- ⑥ 全く見たり聞いたりしない

■中学校



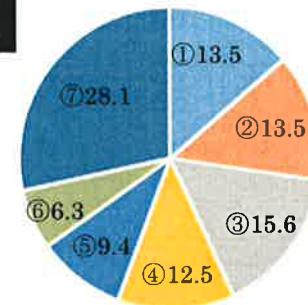
平日のテレビゲームを行う時間

- ① 4時間以上
- ② 3時間以上 4時間未満
- ③ 2時間以上 3時間未満
- ④ 1時間以上 2時間未満
- ⑤ 1時間未満
- ⑥ 全くしない



平日の携帯電話での通話・メール・ネット時間

- ① 4時間以上
- ② 3時間以上 4時間未満
- ③ 2時間以上 3時間未満
- ④ 1時間以上 2時間未満
- ⑤ 30分以上 1時間未満
- ⑥ 30分未満
- ⑦ 全くしない



子どもたちの生活の中で、テレビやゲームを楽しむ時間、また近年では携帯電話を使用したメールやネットを行う時間が多くを占めています。上記は度会町の小・中学生の状況です。

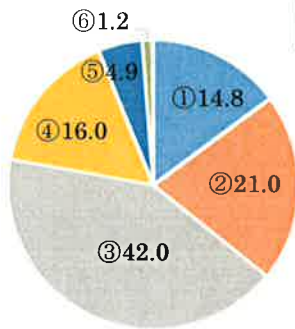
小学生では、平日2時間以上ゲームを行う割合が全体の37%を占め、全国平均(30.3%)と比べても高い傾向です。中学生では、2時間以上ゲームを行う割合が全体の41.7%を占め、全国平均(35.4%)より高い傾向にあります。

また、平日2時間以上、携帯電話でメール・ネットを行っている中学生の割合は、全体の42.6%を占め、全国平均(32.7%)と比べても非常に高いことがわかります。

今回の調査において、ゲームや携帯電話の時間が長いほど、全ての教科において平均正答率が低い結果が全国的に出ています。限られた時間の中で、当然家庭での学習時間は短くなっている状況がうかがえます。

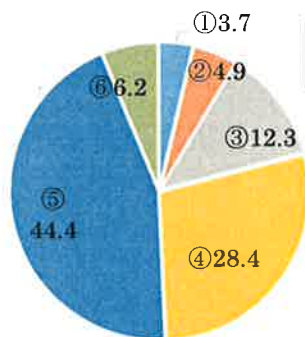
【2】家庭学習

■小学校



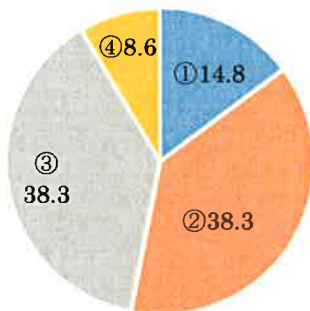
平日の勉強時間(学習塾・家庭教師含む)

- ① 3時間以上
- ② 2時間以上 3時間未満
- ③ 1時間以上 2時間未満
- ④ 30分以上 1時間未満
- ⑤ 30分未満
- ⑥ 全くしない



土日の勉強時間(学習塾・家庭教師含む)

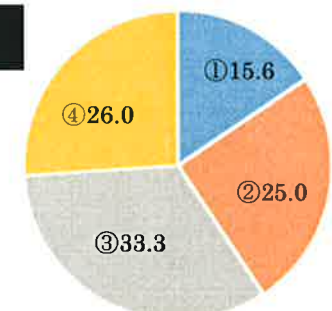
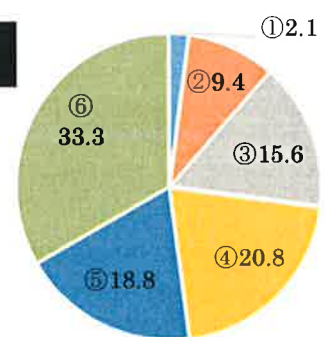
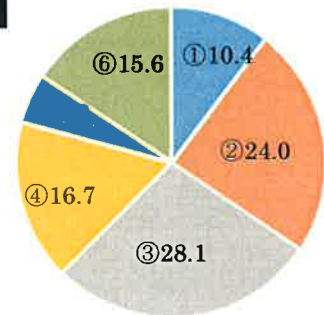
- ① 4時間以上
- ② 3時間以上 4時間未満
- ③ 2時間以上 3時間未満
- ④ 1時間以上 2時間未満
- ⑤ 1時間未満
- ⑥ 全くしない



自分で計画を立てて勉強しているか

- ① している
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない

■中学校



平日1時間以上勉強している小学生の割合は77.8%で、全国平均(62.0%)と比べても高いことがわかります。土・日曜日になると、1時間以上勉強している割合は49.3%に減り、全国平均(55.9%)よりも低めです。

中学生では平日1時間以上勉強している割合は62.5%で、全国平均(67.9%)よりも低く、土・日曜日では、1時間以上勉強している割合は47.9%と半数以下になります。全国平均(67.4%)と比べても非常に低いことがわかります。

これらは、中学生が授業終了後や週末に部活動に取り組んでいることも影響しているかと思われませんが、生活習慣の結果で見られたゲームや携帯電話の使用時間とも大きく関係していると推測できます。

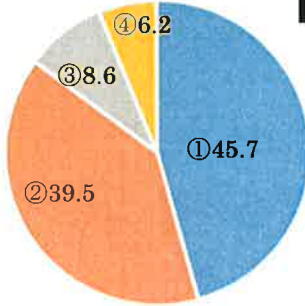
また、度会町の子どもたちは「自分で計画を立てて勉強している」割合が、小・中学生ともに全国平均より低い傾向にあり、家庭学習の習慣が身に付いていないことも課題の一つです。

【3】 学校生活・規範意識

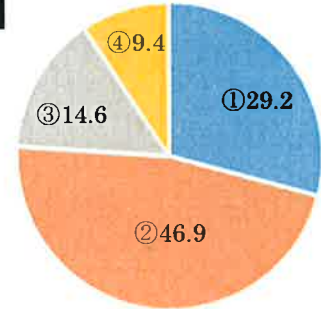
■ 小学校

■ 中学校

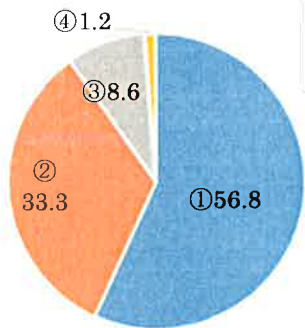
学校に行くのは楽しいと思いますか



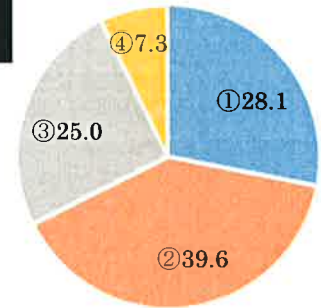
- ① ① ① ①
- ② ② ② ②
- ③ ③ ③ ③
- ④ ④ ④ ④



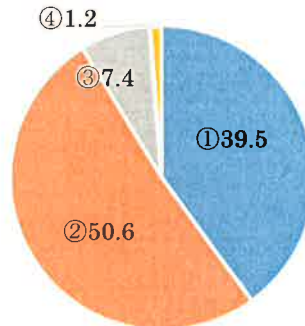
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



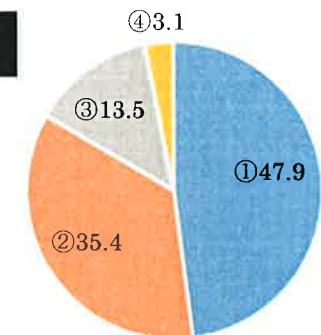
- ① ① ① ①
- ② ② ② ②
- ③ ③ ③ ③
- ④ ④ ④ ④



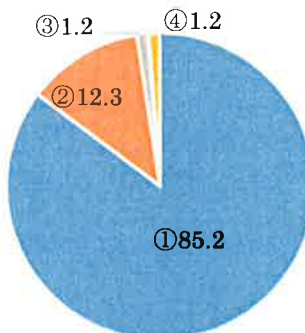
学校のきまり(規則)を守っていますか



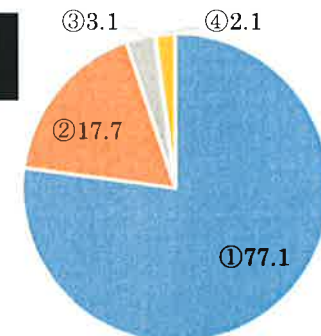
- ① ① ① ①
- ② ② ② ②
- ③ ③ ③ ③
- ④ ④ ④ ④



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



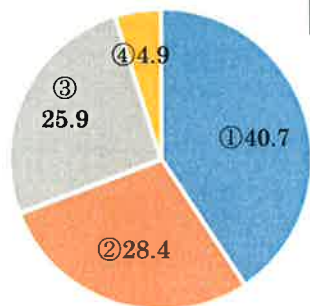
- ① ① ① ①
- ② ② ② ②
- ③ ③ ③ ③
- ④ ④ ④ ④



学校へ行くのは楽しい、学級活動の中でうれしかった経験をもつ小学生の割合が高い一方、中学生ではどちらもやや低い傾向がうかがえます。いじめはどんな理由があってもいけないことだと感じている児童生徒の割合が小・中学校ともに非常に高いです。

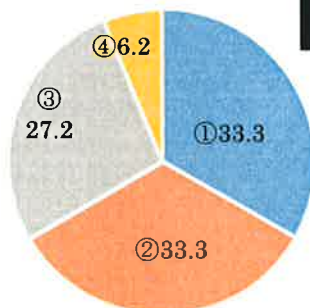
【4】地域、社会に対する興味・関心

■小学校



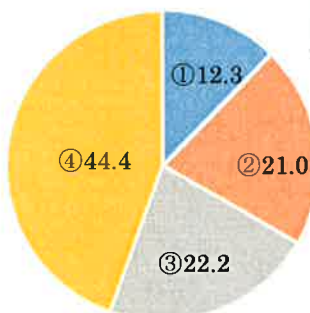
地域の行事に参加していますか

- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない



地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

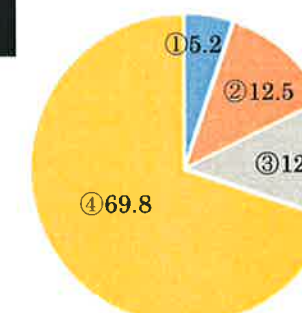
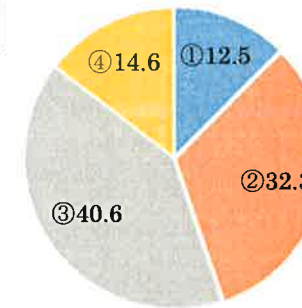
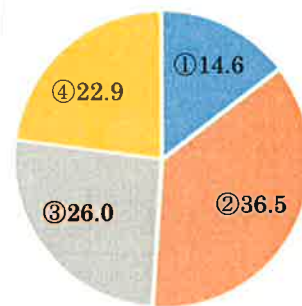
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない



新聞を読んでいますか

- ① ほぼ毎日読んでいる
- ② 週に1~3回程度読んでいる
- ③ 月に1~3回読んでいる
- ④ ほとんど、または全く読まない

■中学校



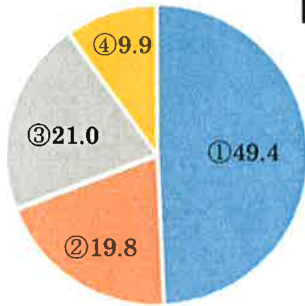
地域の行事に参加している小学生の割合は69.1%で、全国平均（68%）と同程度です。中学生は51.1%ですが、全国平均（43.5%）と比べるとやや高い傾向にあります。

地域や社会で起こる問題や出来事に関心があると回答した小学生は66.6%であるのに対し、中学生では半数以下でした。中学生の時事問題に対する興味や関心の低さがうかがえます。テレビのニュース番組やインターネット（携帯電話を使う場合を含む）のニュースは78.2%の中学生が見ているものの、新聞を読んでいる割合は低く、7割の生徒が「ほとんど、または全く読まない」と回答しています。

スマートフォン等の普及により、情報を得る手段が増えたことや家庭での新聞の捉え方も変わりつつある中で、子どもたちの新聞離れが進むことも考えられます。

【5】読書活動

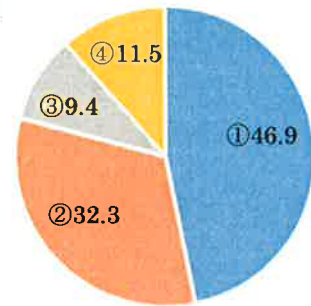
■小学校



読書は好きですか

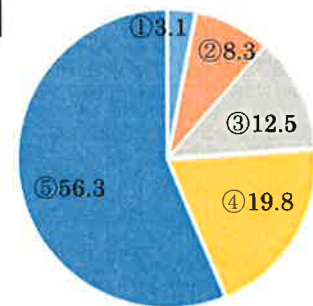
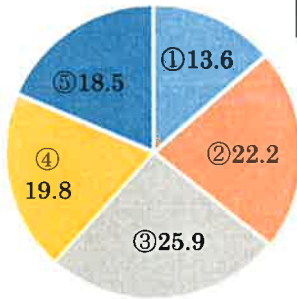
- ①当てはまる
- ②どちらかといえば、当てはまる
- ③どちらかといえば、当てはまらない
- ④当てはまらない

■中学校



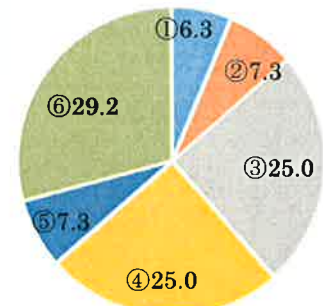
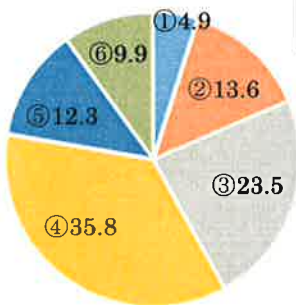
昼休みや放課後、休日に学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

- ①だいたい週に4回以上行く
- ②週に1~3回程度行く
- ③月に1~3回程度行く
- ④年に数回程度行く
- ⑤ほとんど、または全く行かない



平日、学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

- ①2時間以上
- ②1時間以上、2時間未満
- ③30分以上、1時間未満
- ④10分以上、30分未満
- ⑤10分未満
- ⑥全くしない



読書好きであると回答する子どもが多いです。特に中学生では79.2%の生徒が肯定的に回答し、全国平均（69.4%）と比べても高い傾向にあります。

図書室を利用する回数を見ると、月に1~3回程度以上行く小学生は61.7%、中学生は23.9%です。全国平均（小学生42.9%、中学生18.9%）と比べると高く、比較的図書室が利用されていると言えますが、中学校では全く利用しない生徒も多く、利用の有無で二極化の傾向がみられます。

小中学校では、朝の学習時間に読書をする「朝読」の実施や、教科学習で図書室を効果的に活用するよう意識していますが、家庭での読書活動につながるような取組も今後進めていく必要があります。

4、全体的な課題

学力調査：基礎的、基本的知識や技能の定着と活用

自分の考えや問題を解決した過程を他者に説明する力、文章に書いて表現する力の育成

- ・漢字の読み書き、故事成語やことわざ、四則計算など基礎的、基本的な知識・技能の定着にむらが見られます。
- ・既習の内容を別の場面に当てはめて発展的に考えることが難しいです。
- ・自分はなぜそう考えるのかという理由や、ある事柄を他者に分かるように説明することに課題が見られます。中でも、字数や語句の使用に関する条件が伴う記述に難しさを感じています。

学習状況調査：興味や関心を持って、主体的に学ぼうとする意欲

- ・平日、ゲームを行う時間や、携帯電話の使用時間が長いです。
- ・計画的に学習したり、自主的に予習や復習を行う児童生徒の割合が低いです。
- ・土、日曜日に家庭学習を行う習慣がついていない生徒が多いです。
- ・地域や社会で起こる問題や出来事に興味、関心が低い児童生徒が多いです。
- ・読書習慣がついていない児童生徒が多いです。

5、今後の取組・支援

■教育委員会が行う取組・支援

各学校では結果の分析を行い、課題の把握やそれらを踏まえた授業の工夫、改善を図っていきます。町教育委員会は各学校の取組を支援するとともに、指導主事の派遣や学校関係者による評価を実施することで、より効果的に取り組めるよう指導していきます。

- ・個に応じたきめ細かな指導（チーム・ティーチングの活用、少人数指導等）が行えるよう支援します。
- ・教職員の授業力向上に向けた研究授業への支援ならびに、職員研修を通じた資質向上を図ります。
- ・授業改善や校内研修の充実に、県教育委員会と連携し取り組んでいきます。
- ・教育相談体制や配慮を必要とする子どもへのサポート体制を継続して実施します。
- ・児童生徒の知りたい、調べてみようという探究心や主体的に学ぶ態度を育むため、さまざまな体験交流活動や地域学習を支援します。

- ・教材やIT機器など学習環境の整備に努めます。また、計画的な図書整備や専門員配置など、読書環境の整備にも一層取り組みます。
- ・家庭や地域に向け積極的に情報を発信し、町全体で子どもたちを育てていただくよう働きかけを行います。

■家庭や地域へお願いしたいこと

冒頭でも述べたとおり、全国学力・学習状況調査からみえることは、学力の特定の一部分であり、教育活動の一側面ですが、学習指導要領で求める『生きる力』を育むための『知識や技能』あるいは『思考力、判断力、表現力』の育成を確認する一つのツールでもあります。

子どもたちの良いところは一層伸ばし、課題として考えられることは改善に向け、見直しを行うことが大切です。学力の向上を図ることは、学校や教育委員会の重要な役割の一つですが、学ぶ意欲を育むためには、家庭や地域での関わりもとても大切になります。子どもたちの学習や生活の充実のために、まずは日常生活や子どもとの関わりを振り返ってみませんか。

保護者の皆さまへ

- ・早寝、早起き、朝ご飯、まずは毎日の生活習慣から見直しましょう。
- ・テレビやゲーム、携帯電話の使用時間など、家庭でのルールは守られていますか。
- ・家庭学習を応援してあげてください。寄り添い、見守り、励ましなど、保護者の方の一声が子どもの可能性を一層伸ばします。毎年お配りしています「家庭学習のすすめ」をぜひご活用ください。
- ・学校での出来事や友達のことなど、子どもと話す時間は持たれていますか。日頃の会話の中で、保護者の方は「聴く」ことを大事にしていただき、子どもに分かりやすく話させるようにしてください。
- ・子どもと一緒に地域の行事に参加してみませんか。豊かな体験は、子どもの探究心や想像力を育みます。
- ・地域や社会での出来事を新聞やニュースをもとに、ご家庭でも話題にしてください。
- ・読書をとおした学びを応援してください。本のある生活、共に読書する時間、本を通じた共通の話題など、無理なくできることから始めてみませんか。

地域の皆さまへ

- ・子どもたちは、地域の方との触れ合いや交流活動から、様々なことを覚え、身に付けます。良い行いは褒めてあげてください。危険なことやマナーに反することには、毅然とした対応をお願いします。
- ・子どもたちの中には、自分の思いを言葉でうまく表現できない子や、行動の遅い子など様々な子がいます。それでも先回りせず、じっくり見守ってあげていただけませんか。自分で考え、行動し、評価されることで、子どもたちは伸びていきます。
- ・少子化も進んでいます。地域の子どものも我が子同様に、温かい見守りをお願いします。

最後に、今回の質問紙調査から二つ報告します。

①友達との約束を守っていますか。(小学校 95.0%、中学校 95.8%)

②人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。(小学校 97.5%、中学校 95.8%)

度会町の子どもたちの、この真っ直ぐで素晴らしいところを一層伸ばしてあげられるよう、学校ならびに教育委員会も取組を進めていきますので、保護者や地域の皆さまもご協力をお願いします。